

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 一級建築士事務所AND			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																			
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営計画を毎年度策定し、新規で取り組む業務毎に見直し意識し業務に取り組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		業務遂行上、建築基準法、消防法、関係条例が関連しコンプライアンスが要求される職種であり、一級建築士事務所としての職能を意識し実践している。															16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争には関与せず、社内の知識・ノウハウ・経営資源(実績も含め)によって創意工夫した提案により事務所としての利益最大化を目指し取り組んでいる。										10					16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		専門性を要求され、また、環境、地域、街並み、景観含め総合的に環境に影響を与える職種ということを認識し、協力設計事務所、協力取引先との連携を図っている。(統括:当事務所代表者、専門協力事務所:構造設計事務所、設備設計事務所)															16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		事務所の経営資源のひとつでもある知的財産については代表以外アクセスできないよう仕組みを構築し、情報の流出を防止している。また、業務において他社から提供受けた技術的な知的財産についても、業務記録として保存必要な事項以外は業務完了後に削除するようにしている。								8.2 8.3	9						16				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		日常業務で使用するパソコンとは別のサーバーで顧客管理し、アクセスできる人間の制限、管理体制を徹底している。															16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		委託先、協力会社と設計内容・設計情報について共有サーバー等で密にコミュニケーションし、問題発生時には現場系統連携を構築し迅速に対応し課題解決に前向きに取り組んでいる。														16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		特に現場では国籍の違う多様な方々が働いているため差別やハラスメントがないように研修会の実施を行い徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		設計のみでなく監理業務もっており現場に出向くことが多いため、現地では屋外でもヘルメットや安全靴の着用を徹底している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		家族関係以外の従業員を雇用した場合には、雇用形態に関わらず公正な待遇とする体制になっている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		仕事と家庭を両立できるよう適切な労働時間と休暇を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		定期的に建築士講習を含めた研修会に参加し、能力向上に限らず、知識やスキルアップを目標に取り組んでいる。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		メンタルヘルスに関する研修を2022年から受講している。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人を雇用している取引先・協力会社に対し、そのスタッフが十分に業務遂行できるよう研修会を実施し環境づくりを実践している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					16.7				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	業務の性格上、可能な限り自宅パソコンでできる業務は自宅で行い、ZOOMやリモートによる打合せを推進している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9		12							

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：一級建築士事務所AND			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴミの分別、エコバックの利用、以前の現場で使用した現場用スリッパを継続して使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気やガソリンなどの年間消費料を把握し、またガソリン消費量の少ない社用車によって現場移動などでも省エネルギーに取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを活用して、エネルギー使用量と温室効果ガスの排出量を把握している。温暖化対策のためできるだけ冷暖房の使用を控えている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		設計時に取り寄せる建材は、産廃にならない分別可能な材料を積極的に採用するとともに、通常業務の中では、エコバックを活用し、廃プラやレジ袋の使用削減に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		資源ゴミの適切な分別や、根本的にゴミを出さないことを業務内でも意識し取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水栓に節水器具を設置し節水を心掛け水資源の無駄づかいを無くし水環境保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		【予定】事業所内の照明器具に調光設備を設置し省エネ推進を2025年12月までに実施する。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	事務所前面の樹木や木々の管理を徹底し保全管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	設計案件では建築自体の省エネ化、また、設備機器の採用においては高効率化された機器を選定している。また、太陽光発電パネルの設置など可能な限りの省エネ化実現に向けて取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:一級建築士事務所AND

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		お客様のニーズを分析し求めるものに対し良質な提案を意識している。お客様に寄り添い品質の良い建築を実現している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		熊本県のみならず全世界的に推進されている利用者を特定しない、誰も取り残さないを意識し手摺の設置などを行っている。具体的には段差の無い建築、階段に代わるスロープの積極提案、手摺の設置などを行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	建築物の設計において積極的に地元の木材を使用した木造建築を推進している。前期から引き続き全数非住宅の設計ながら100%の木造建築物を実現している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	構造体を含め積極的な木材の使用(内装材等)を推進している。取り換え・補修を容易にする設置方法を推進している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	建築デザインとはソリューション(問題解決)と考え、発注者より与えられた条件を分析して最適な建築物を目指している。例えば老朽化した施設やエネルギー非効率な既存建築物等を、建築設計の解決方法によって価値向上を行ったり、省エネルギーになる改修設計を積極的に行うことで、課題に対し最適な建築物を目指している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し地域の活動に参加するよう奨励している。事業者として地域の活動(美化清掃や交通安全)に積極的に参加し取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		通常業務の中(設計時)では各市町村で公開されているハザードマップを確認し、例えば川の氾濫の恐れのある場所での造成(敷地の底上げ)などを提案し実現している。また、社内的には事業所・居住場所のハザードマップを定期的に確認し災害等に対し避難訓練の実施など事前準備をしている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	クライアントである建築主に可能な限り木質化建築で建てることを説明し、CO2の固定化、SDGsの意義を説明して普及活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	建築士を目指す学生をインターンシップ等で積極的に受入れ、また、専門学校での特別授業などの講師を行い(前期実績:2021年度「地域資源とのコラボ推進事業計画「特別授業」を球磨工業高等学校建築課2・3年生対象に実施)本業を学ぶ若者に対し学びに対する興味をもってもらよう取り組んでいる。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3